



「北粉浜の風」

7月号 大阪市立北粉浜小学校

◆ゴリラに学ぶ本当の強さ◆

ゴリラは、人間に近い動物です。DNA は人間と約 95～99% 共通しているといわれています。

ゴリラは非常に大きく力持ちです。胸をたたいて力を誇示し、相手を威嚇する「ドラミング」を行うこともあります。そのため、争いを好む動物というイメージをもたれるかもしれません。

しかし、実際には、ゴリラは争いを好まず、平和的で繊細な性格をもっているそうです。

ゴリラ研究の第一人者である山極壽一さんによると、人間社会ではけんかは「勝敗を決めるもの」と捉えられがちですが、ゴリラ社会では「和解すること」が前提にあるといいます。

その証拠に、ゴリラは年齢を重ねるにつれて、

- ・ おいしい食べ物のありかを知るようになる
- ・ 小さなゴリラの世話が上手になる
- ・ 仲間同士のけんかの仲裁がうまくなる

など、群れのために力を発揮するようになります。

そして、そのようなゴリラの周りには多くの仲間が集まり、平和な集団がつくられていくそうです。

北粉浜小学校の子どもたちを見ていますと、友だちに優しく教えたり、友だち同士のトラブルを仲裁したりする姿をたくさん見ることができます。

子どもたちは、互いに支え合いながら成長する力をもっています。

これからも、たとえけんかや行き違いがあっても、その都度お互いを理解し合い、関係を深めながら、一人ひとりが心豊かに成長できる学校でありたいと考えています。